

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスひまわり掛川城前校		公表日		年 月 日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・身体を動かす、宿題をする、製作をするスペースなどを分けて活動できるようになっている。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		・個別の支援が必要な場合は、1対1の対応を行っている。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			○	・柱の角をはじめ、児童がぶつけて怪我をしそうな場所には保護をするなど、配慮している。 ・二階に上がる階段には、滑り止めをつけ、事故防止をしている。	・建物の構造上、死角が多いため、施設の徹底や危険な場所への入室を防止する等の対策を強化する。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		・施設内・トイレ等の清掃を毎日行い清潔な空間を保っている。 ・自由に遊びを選択できる環境を提供している。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		・痲痺や体調不良の際に、職員室や2階活動室等を使えるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・月1回職員会議を開催し、支援の質の向上を図ると共に、日々職員間で情報共有を行っている。 ・必要に応じた研修を行い、振り返りを兼ねた改善を図る機会を設けている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者会や保護者向けスライドショーを行った際にアンケートを取り、療育を受けての感想や要望等の情報を得ることにより、支援の改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・月1回の職員会議で、支援のアイデアや業務改善における意見等を聞く機会を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・今後外部評価をしてもらい、業務改善につなげたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・ジョブメドレーアカデミーを導入し、月一回以上の研修を受けている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・土曜開校や長期休暇、その他イベント時には支援プログラムを保護者に配布している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・カンファレンスを行うことで、各職員の視点から多面的に分析し、その結果を参考に個別支援計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・終礼や職員会議時に、タイムリーに情報共有を行い、共通理解のもと支援ができるように努めている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・職員会議でカンファレンスを行い、職員間で情報共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・発達検査の情報共有や日々の行動観察を行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・常勤職員を中心に日々のプログラムを考え、パート職員には職員会議等で意見を聞き、協力して立案・実施をしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・利用児の特性に配慮し、活動が固定化しないようにしている。 ・工作などは工程を分割し、児童が視覚的にとらえやすいように工夫している。 ・利用児に合った工作遊び、活動等あれば取り入れている。 ・季節ごとの様々なイベントプログラムを準備している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個々の特性や、その日の利用人数の状況に応じて、スタッフミーティングにより決定している。 ・利用児の特性に合わせ、個々が「できること」からのスタートを決め、計画・実施している。 ・集団活動を中心に、個別活動も組み合わせで計画案を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○		・毎日朝礼を行い活動計画・タイムスケジュール作成を行っているが、下校時間が早い時は昼礼ができない日もある。 ・土曜祝日、長期休暇の支援に関しては事前に支援内容を職員全体で共有し、役割を決め、タイムスケジュールを以って1日の流れの共通理解に務めている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・各利用児の振り返りを行いながら、ケース記録の記入を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援終了時に必ずケース記録を記入し、職員と情報共有をしている。各種記録や検査結果等を参考に、支援改善を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・相談支援事業所の計画をもとにモニタリングを行い、日頃の様子も鑑みながら計画の見直しを行っている。 ・今後も定期的に実施していく。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・個々の状況に合わせた発達支援を行い、健全な育成を行えるよう、支援している。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・サービス担当者会議があった際は、児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校連絡網（きずなネット）に登録し、タイムリーに学校からの連絡を受け取れるようにしている。 ・学校へのお迎えの際、担任教諭から学校での様子等の情報を共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・ひまわり児童発達支援の職員からファイル情報や聞き取りを行っている。	・ひまわり児童発達支援とは共有できているが、その他の機関との情報共有も今後行っていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		・現在該当児なしの為未実施だが、今後卒業し障害福祉事業所等へ移行する場合は提供予定。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		・連携する機会が少ないため、今後は連携を深めていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・児童交流館での交流や、障がいのない子どもとの活動を行っている。	
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が年に3回ほど参加している。		

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡ノート、モニタリング、相談支援等で利用児の成長、及び課題の共有をしている。 ・自宅送りの際に、その日の活動の様子や心身の変化等を口頭で伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・今後スケジュール調整をし、保護者と話しができる機会を作っていくたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に重要事項説明書の説明を必ず行っている。また支援内容や利用者負担額等の説明を丁寧に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・連絡ノートやLINEを活用し、気軽に相談できるよう随時行っている。 ・電話対応やお迎え時、午前中の来校を含め、保護者からの相談があった場合は適切な助言と支援を行えるよう努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		・定期的に保護者会や親子活動を開催し、保護者同士が自由に交流できる機会を設けている。その際に兄弟児が参加できるよう配慮し、交流の機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・連絡ノートを活用し、日々の出来事をわかりやすく伝え、安心して頂けるよう工夫している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・ひまわり通信の発行やInstagramの活用を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の取り扱い契約書に署名いただき、同意を得ている。 ・個人情報取り扱いに関する規定を定めている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・連絡ノートを活用している。 ・送迎時に担当職員と保護者と、情報共有をしている。 ・掲示物を利用して視覚的に捉えやすい支援を行うように工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・機会を設けるよう努めたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・契約時に関係資料の配布を行っている。 ・防犯マップの掲示や避難場所の掲示を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・毎月防災に関する訓練等を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時にアセスメントシートの記入及び、お薬手帳のコピーをとり、服薬や持病の確認を行っている。また、服薬の変更等があった場合はLINEや連絡ノートで情報共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・医師の指示はないが、保護者の指示で対応している。 ・食物アレルギーがあるか等を保護者から聞き取りを行い、アセスメントシートに記入している。また、対象児については施設内にアレルギー表示を行っている。 ・対応が必要な利用児については職員間で共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		・ヒヤリハットの共有や長期休暇前の安全支援会議を行っているが、安全計画の作成はできていない。

51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットを有事の時には速やかに記入できるよう職員に周知させている。 ・カンファレンスや終礼時に話し合いを行い、改善につながるよう努めている。 	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の身体に危険が及ぶと判断した際には、やむを得ず行う。その際、記録と保護者への報告を必ず実施している。 ・放課後等デイサービス計画に保護者の了解を得て記載している。 	